

日 時 令和5年11月2日（木）第3校時
生 徒 後期課程知的学級（7～9年）7名
指導者 福田 翔・筒井 美有

1 単元名 「いただきます」からつながる世界

2 単元について

普段何気なく口にしている食べ物だが、国が変われば同じ食材でも違う料理になる。また、同じ料理名でも違う食材を使い、全く違う味になることがある。本単元では、生徒たちも身近であるカレーライスを題材に日本と世界を比べ、国際理解につなげていきたい。

その土地によって味が変わるのは、その土地の環境や歴史、文化が違うからである。その国の料理にはその国の人たちが大切にしてきた文化が詰まっているとも言える。人によって、口に合う、合わないはあるが、その土地の文化を知り、理解しようとすることで、味わいも変わってくるのではないだろうか。

このように、違いを受け入れようとすることは人との関わり方にも繋がる場所があると考えられる。生徒達も一人ひとり違った環境で育ってきた歴史があり、得意不得意も様々である。料理を題材に日本との相違点や共通点を探す活動を通して、お互いを尊重し合える心を育てていきたい。

3 国際理解の目標

● BASIC-1（地理的項目－知識・理解）⇒【intake活動】

世界の食べ物と日本の食べ物を比べ、同じ食材でも違う料理になったり、その国ならではの食材があったりすることを知る。

● BASIC-2（文化・言語的項目－体験・経験）⇒【output活動】

食文化の背景には、その国の環境や習慣、歴史が関わっていることに気づかせる。

● BASIC-3（情報発信・行動的項目－表現・意識）⇒【outcome活動】

異なる文化について相違点や共通点を理解しながら、相手を尊重するために大切なことを考えることができる。

4 単元の目標

世界と日本を比較する活動を通して、互いの国を尊重することの大切さに気づき、一人ひとりの違いを認める心を育成する。

5 大空学園の研究にかかわって

研究主題の「互いの文化を尊重し、多様な世界で生きていく国際実践力の創造」に関わり、スリランカと日本を比較する学習活動を中心に置いた。比較することで日本の優れている点が見えてくるが、同時に相手の国を尊重する必要性も生まれる。相手を尊重するためにどのようなことが大切なのかを考え、実践できるように指導していきたい。

6 指導計画

| 学習段階 | 授業の展開 | 評価の手立てと観点 □評価 ◆手立て |
|--------------------------|--|--------------------------------------|
| 1次（1時間） （知る） | オリエンテーションを行い、学習の見通しを持つようにする。 | □ワークシート |
| 2次（3時間） （調べる・見つける） | スリランカのカレーを作り、食事をする中で、日本のカレーライスとスリランカのカレーライスの共通点、相違点を調べる。 | □発表 ◆手順がわかる資料 |
| 3次（1時間） （考える） 【本時】 | JICAの方を招き、スリランカの国について話を聞く。スリランカと日本の文化を比べ、お互いの文化について共通点と相違点を考え、文化を尊重するために大切なことを考える。 | □発表、ワークシート ◆通訳する方 ◆比較しやすいような板書 |
| 4次（1時間） （考える） | 一人ひとりの違いを認めるために自分ができることを考える。 | □ワークシート ◆前時までの資料 |
| 5次（1時間） （伝える） | 前時で考えた内容をもとに、お世話になったJICAの方にお礼の手紙を書く。 | □手紙 ◆手紙の見本 |

7 本時の目標

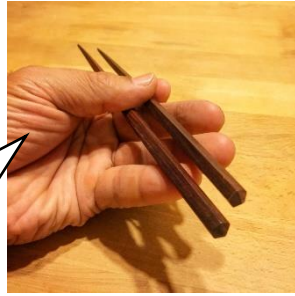
- 日本とスリランカの国を比較し、共通点や相違点があることを理解するとともに、互いの国を尊重するために大切なことを考える。

8 本時の展開

| 主な学習活動 | □評価 ◆留意点 | ●国際理解の活動 |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|
| ○講師の紹介 | ◆通訳を介して、紹介する。 | |
| ○前時の振り返り ・カレー作り ・味や食材についての共通点、相違点 | ◆前時の写真やワークシートを提示し、学習内容を思い出せるようにする。 | |
| 【課題】スリランカと日本の似ている所と違う所はどこだろう？ | | |
| ○スリランカについての習慣や生活について話を聞く。 | ◆写真やイラストを提示し、理解しやすいようにする。 | ●スリランカについての基本的な情報を知る。 【intake活動】 |
| ○日本との共通点や相違点を考える。 | ◆比較しやすいように項目ごとに並べて提示する。 | ●日本との共通点や相違点を話し合う。【output活動】 |

[相違点の例]

日本



私たちは日々、箸やスプーン、フォークなどを使って食事をしているね。

スリランカ



手で食べるって本当なのかな？ どうして手で食べているのかな？ 聞いてみよう。

○どちらの国も自国を大切にしていることに気づく。

◆一方が優れていて、一方が劣っているのではなく、どちらも自分の国を大切にしていることに気づかせる。

【まとめ】 国によって習慣や生活は違うが、自分の国を大切にしている所は同じ。

○互いの国を大切にするために大事なことを考える。

- ・相手の国のことを知ろうとすること。
- ・違いがあっても良いと思う。
- ・いろいろな考えの人がいて当たり前だと思う。
- ・相手が何を大事にしているかを考えて行動する。
- ・思いやりをもって接する。

◆日常生活で友達と感覚や意見が違った時を想起させ、相手の気持ちを大切にするときはどうするかを考えさせる。

◆参考になる意見を取りあげる。

□お互いの国を大切にするために、思いやりのある考えを持つことができる。

●互いの国を大切にするために大事なことを発表する。

【outcome活動】